

多剤耐性菌の実態調査等に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、各地域の保健所から、新たな多剤耐性菌の実態調査等について、厚生労働省健康局結核感染課長からの通知（裏面参照）があったことと思います。国内においても、医療機関に入院していた患者の感染や保菌者が確認されております。国内での実態を明らかにするため、当社と致しまして、新たな多剤耐性菌が疑われる調査対象の菌株が認められた場合、国立感染症研究所への菌株送付や報告がスムーズになるように、ご協力させていただきます。敬具

記

【調査対象となる菌】

- 腸内細菌科の細菌（大腸菌、肺炎桿菌、セラチア、エンテロバクター等）であって、かつ、カルバペネム系、フルオロキノロン系、アミノ配糖体系の 3 系統すべての抗菌薬に「R」と判定されたもの。

【耐性菌株が認められた場合】

- 当社より多剤耐性菌の疑いがある菌株が認められた旨を細菌検査報告書（多剤耐性菌の疑い）に明記し、別途連絡（FAX 及び電話）致します。その際に菌株保存の有無等を確認させていただきます。

【報告方法】

- 国立感染症研究所へ報告する用紙様式 1 に医療機関情報、背景情報をご記入して頂き、菌株輸送用の箱の送り先には以下のようにご記入ください。

送付先住所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 18 丁目 9 番地 1

衛生検査所等名称 札幌臨床検査センター株式会社

担当者名前 伊藤 政彦

電話番号 011-641-6311

FAX 011-614-1431

【対応期間】

- 平成 22 年 9 月 15 日～12 月 28 日まで



(7)

健感発0910第1号
平成22年9月10日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査等について(依頼)

近年、多剤耐性菌の感染症による医療現場への影響は一層重大になっており、最近では、これまで国内にみられなかった、ニューデリー・メタロ-β-ラクタマーゼ1(NDM-1)産生多剤耐性菌等による感染事例が明らかになっています。このため、国内における、このような多剤耐性菌による感染症の発生動向を把握し、今後の対策に活用するため、本年9月15日から12月28日までの間、新たな多剤耐性菌が疑われる検体について、国立感染症研究所において詳細な検査を実施することとしましたので、貴管下医療施設にご協力いただけるよう、周知方よろしく願いいたします。

調査対象となる菌の範囲や、調査方法については、別添1に示すとおりです。

併せて、多剤耐性菌に関する、一般向けの情報を別添2にお示しします。この情報は、厚生労働省のホームページにも掲載いたしましたので、お知らせします。

(多剤耐性菌に関するホームページアドレスは、
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/multidrug-resistant-bacteria.html>です。)